

数理・データサイエンス・AI 応用基礎プログラム（工学部）



令和 6 年 8 月 27 日付で、本学の「数理・データサイエンス・AI 応用基礎プログラム（工学部）」が文部科学省「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度（応用基礎レベル）」に認定されました。（認定の有効期限：令和 11 年 3 月 31 日）

プログラム名称

「数理・データサイエンス・AI 応用基礎プログラム（工学部）」

プログラム概要

デジタル時代の「読み・書き・そろばん」である「数理・データサイエンス・AI」の基礎・応用・実践に必要な力を育み、多分野で活躍できる人材を育成することが目的です。本教育プログラムでは、主に数理・データサイエンスに関する応用基礎能力を身に付けることができます。具体的には、基礎的な数学とプログラミングの知識を習得すると同時に、機械学習、ビッグデータ、データ分析等の幅広い基礎・応用の内容を含む授業を受講することで、数理・データサイエンスの応用基礎能力を獲得できます。また、学生がそれぞれの学科で学ぶべき内容に即した授業を選択でき、自身の分野での課題解決の基礎となる知識を修得できるプログラム構成となっています。

科目について

プログラムの修了要件【令和 8（2026）年度入学生向け】

1. データサイエンス入門と情報リテラシの単位を取得すること。
2. 「確率統計学」、「確率・統計」、「確率統計基礎」から 1 科目以上、かつ、「工業数学」、「線形代数学Ⅰ」、「基礎物理学」、「線形代数」から 1 科目以上、かつ、「工業数学」、「微分積分学Ⅰ及び演習」、「基礎数学Ⅰ」、「数学総合演習」から 1 科目以上修得すること。
3. 「プログラミング基礎」、「プログラミングⅠ」、「計算機システム演習」から 1 科目以上修得すること。

4. 「人工知能」, 「統計学」 から1科目以上修得すること。
5. 「実践プロジェクトⅠ」, 「プログラミング応用演習」, 「ロボット制御実習」, 「ものづくり実践プロジェクト」, 「社会デザインプロジェクト」, 「土木プロジェクト」 から1科目以上修得すること。
6. 「確率過程」, 「画像情報処理」, 「言語とコンパイラ」, 「応用化学実験Ⅰ」, 「生物工学実験Ⅲ」, 「社会デザイン概論Ⅱ（数理モデルとデータ分析）」, 「測量学Ⅰ」 から1科目以上修得すること。

※当該プログラムにおける授業科目, 授業の方法及び内容並びに実施体制は, 各科目のシラバス参照にて公開しています。

右記の QR コードからもアクセスできます。

【シラバス参照】

<https://sass-sb.adm.tottori-u.ac.jp/>



履修方法およびプログラム登録方法

授業科目の履修に係る通常の登録手続きの他に、プログラム登録希望者は以下のフォームから入力をしてください。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdXIbplbJAwecZuTM5twRgZ-jeEbwCgN9uQfrLWkqjxZMB0Mw/viewform>

※右記の QR コードからもアクセスできます。



認定証の交付について

プログラム登録者には、プログラム修了要件を満たした場合に「数理・データサイエンス・AI応用基礎プログラム（工学部）認定証」を交付します。